



《評価指標データ》

- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況【基本的な基礎データ】
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況【基本的な基礎データ】
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	「聖典と今日の課題」プロジェクトは、2010年度で終了したので、その成果を『聖典と現代社会の諸問題』としてキリスト新聞社から出版する準備をしている。
☆ 小項目4.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	プロジェクトの内容を内外に周知するために、外部より講師を招いて、講演会を開く。
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	科研費や外部諸団体の資金導入の具体的な計画をする。
☆ 小項目4.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	RCCの研究プロジェクトの計画・研究に力をそそいでいるために、まだ公費研究費を申請する余裕はないが、RCCの研究の実績に基づいて、大学共同研究・外部研究助成の応募を探る。
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
--------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

- 多彩な研究プロジェクトを利用して研究が進められていることは高く評価されます。しかし、現在の状況の下では外部からの研究費の獲得は不可欠ですので、その実現を志向するという方針を確定・実現することが求められます。
- キリスト教を研究することは大変大事でこれは非常に評価します。その成果を基に教職員、学生に携行させるわかりやすい冊子の刊行をのぞみます。
- 小項目4.0.2では、組織の適切性の検証について聞いています。各種研究会やフィールドワーク、ミニフォーラムの検証が組織の検証に繋がることになると考えられますが、いまだ組織の検証についての記述が欲しいところです。
- 目標にも掲げられた公募研究費の獲得が期待されます。

#### 【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

- 小項目4.0.1  
基盤評価：なし  
達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」
- 小項目4.0.2  
基盤評価：なし  
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 組織の検証については、毎月行われているRCC長室会（センター長、副長、主任研究員からなる）、および年2回行われているRCC評議員会において行われている。